



2026 年 2 月 27 日

農林中央金庫

大成建設株式会社とのブルー・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：北林 太郎、以下「当金庫」）は、大成建設株式会社（代表取締役社長：相川 善郎、以下「大成建設」）とブルー・ローン契約（以下、「本ローン」）を 2 月 27 日付で締結しましたのでお知らせします。当金庫によるブルー・ローンの実行は本件が初となります。

ブルー・ローンは海洋環境の保全や水資源の効率的な利用等に貢献する事業に充当することを目的としたローンです。本ローンでは、大成建設が策定したサステナビリティファイナンス・フレームワーク^{※1}（以下「本フレームワーク」）に掲げるブルー適格プロジェクトのうち、ゼロ・ウォーター・ビル（Zero Water Building）^{※2}の実証に要する投資資金として充当されます。

大成建設は「人がいきいきとする環境を創造する」というグループ理念のもと、自由闊達・価値創造・伝統進化の 3 つを全役職員が“大成スピリット”として共有し、自然との調和の中で、安全・安心で魅力ある空間と豊かな価値を生み出し、次世代のための夢と希望に溢れた地球社会づくりに取り組んでいます。

当金庫は、パーパス（私たちの存在意義）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。パーパス実現には、食農バリューチェーン全体を持続可能なものへ移行（トランジション）させていくことが重要です。水資源の効率的な利用は、さまざまな環境課題解決の基盤となる重要なテーマの一つです。引続き当金庫は、ブルー・ローンをはじめとするサステナブル・ファイナンスの提供等を通じて、食農バリューチェーン全体のトランジションを推進してまいります。

なお、本フレームワークは IFC（International Finance Corporation）が定める Guidelines for Blue Finance 等各種ガイドラインとの適合性について、株式会社日本格付研究所から第三者評価（セカンドオピニオン）^{※3}を取得しています。

【本ローンの概要】

■ 実行日	2026 年 2 月 27 日
■ 資金充当対象	大成建設が策定したサステナビリティファイナンス・フレームワークに定める、ブルー適格プロジェクト「ゼロ・ウォーター・ビル（Zero Water Building） ^{※2} の実現に向けた水循環技術に関する投資資金」

※1 大成建設サステナビリティファイナンス・フレームワーク

https://www.aisei-sx.jp/sustainable_finance/pdf/sustainable_finance_framework.pdf

※2 ゼロ・ウォーター・ビルとは、水資源自立循環型建物のことを指し、水を建物・敷地内で循環・再利用すること等により自給自足し、水使用量の削減を目指すものです。ゼロ・ウォーター・ビルの普及により、上下水インフラ設備の乏しい地域でも、水資源や水環境の持続的な活用を可能にすることが期待されます。

※3 株式会社日本格付研究所によるセカンドオピニオン

<https://www.jcr.co.jp/download/9e909877ab90f5971d0d8b8ad371ad2e8d9988290c03e03c03/24d0195.pdf>

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班
（藏方・丹羽） Tel : 03-6362-7172